

第13期のご報告

株主通信

2008年3月1日 ▶ 2009年2月28日

顧客支持NO.1の
都市型スーパーセンターへの挑戦



株式会社スーパーバリュー <http://www.supervalue.jp/>

証券コード:3094



経営理念

顧客支持No.1店舗の 拡大と維持

—— モットー ——

- お客様第一主義の徹底
- よい商品をより安く
- 顧客満足度の高いサービスの提供

企業理念

- 生活に豊かさと利便性を
もたらす店舗展開による
地域社会への貢献
- コンプライアンスの徹底
およびCSR(企業の社会的責任)
への取り組み
- ステークホルダー(顧客・株主・
従業員)への利益還元

株主の皆様へ

To Our Shareholder



スーパーバリューは、
大胆かつ着実な成長戦略を
推し進めております。

代表取締役執行役員社長

岸本 七朗

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

私ども株式会社スーパーバリューは、2008年2月15日のジャスダック証券取引所上場より1年が経過し、一步一步着実に成長を続けております。これも皆様の多大なご支援の賜物と、厚く御礼申し上げます。

最近の経済動向は、米国を発端とする世界的金融危機が株価急落をはじめ实体经济にも深く影響を及ぼし、企業業績の低下や雇用不安による消費マインドの低下を引き起こし、我が国経済は大変厳しい状況となっております。

このような環境の中、当社は経営理念であります「顧客支持No.1店舗の拡大と維持」の実現に向け、お客様第一主義と法令遵守をより一層徹底し、着実な成長を遂げていく所存でございます。

当期(2009年2月期)は、2008年11月に2年ぶりの新店となります「SuperValue 川口前川店」を、12月には「SuperValue 入間春日町店」を開店いたしました。現在、2店舗とも順調に業績を伸ばし、当社の業績拡大に貢献しております。

本年も2店舗の新規出店を計画しておりますが、上場時に表明いたしました大胆かつ着実な成長戦略を推し進め、ステークホルダーの皆様のご期待に沿えるよう企業価値の最大化に邁進してまいります。

引き続き、株主の皆様のご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。

2009年5月

社長メッセージ

Message from the President

■スーパーバリューの特長と強み



当社の社名であり店舗名となっている「スーパーバリュー」とは、“お客様への価値の提供を最優先に行っていこう”という当社の意志を表明したものです。この経営姿勢のもとで構築された当社の最も大きな特長が、SM（食品スーパー）業態とHC（ホームセンター）業態を独自のノウハウで複合させた店舗です。実は、1社単独でこの2つの専門的な業態を複合させることは非常に難しく、当社は、SM・HC複合業態で強い競争力と収益力を確保している数少ない存在となっております。

例えば、業界関連団体や上場企業の公表データから当社が集計したところ、当社の客単価はSM業界平均の1.26倍、HC業界平均の1.09倍、商品回転率はSM事業部で他社SM平均の1.12倍、HC事業部で他社HC平均の1.43倍、さらに従業員1人当たり売上高もSM業界平均の1.24倍、HC業界平均の1.12倍と、非常に高い生産性を実現しております（2009年2月期）。これは、一人ひとりのお客様により多くご来店いただき、一度のご来店でより多くご購入いただくことで、従業員1人当たりの生産性が非常に高くなっていることを表しています。

このような高い生産性は、次の3つの取り組みによって実現しております。

まず、当社では「店舗への大幅な権限委譲」により、各店舗の売場担当者が自らの判断で売価や品揃えを決定できる組織としております。この組織のもと、「よい商品をより安く」を実現するため、各店舗の売場ごとに競合店を設定し、毎日競合店調査を実施することで、安さにおいて常に“地域一番店”のポジションを確保するよう努めております。

また、年齢・家族構成・世帯年収・ライフスタイルなど様々な世帯属性に対応できるよう、品質や仕様、メーカーなどの多様な基準で「幅広い品揃え」を行った結果、当社店頭には、生鮮食品を除いたSM・HC合計で約11万点ものアイテムが品揃えされ、衣料品を除き日常生活に必要なほぼ全ての商品をワンストップで購入することが可能となっております。

こうした取り組みの結果、当社の店舗は非常に大きな集客力を持つに至っております。初めてご来店いただくと誰もが驚かれる当社の価格・品質、そして店舗の賑わいは、一度ご来店いただければ必ずご体感いただけるものと自負しております。



社長メッセージ

Message from the President

■ 成長戦略

世界的な景気後退により、消費者の生活防衛意識が一層高まる中、小売業各社によるPB商品の取り組み強化や、大手小売企業による低価格スーパーの出店加速など、これまで以上に競争が激化し、今後も厳しい経営環境が続くことが予想されます。

このような環境においては、当社が得意とする「ローコスト経営」により、常に競合店を上回る価格競争力を発揮することで、地域一番店のポジションを確保することができると考えております。2009年2月期の実績に基づく当社集計によると、当社の売上高販管費率は競合企業の平均値に比べ7%以上も低い水準に抑えられております(当社の2009年2月期実績:18.8%)。このローコスト経営体質を活かし、各店舗では売価を常に競合店よりも低い水準に設定することが可能となっております。また、商品ロスの削減や仕入れ条件の見直しなどにより得た原資を売価値下げとしてお客様に還元することで、更に強い価格競争力を保持してまいります。

出店戦略につきましては、現在、当社は埼玉県・東京都・千葉県の一都二県において、高密度集中出店体制(ドミナント出店体制)を推進しております。今後も、神奈川県を含む1都3県を中心とした首都圏エリアの「国道16号線」内側の市街地・人口密集地をメインターゲットとし、一店一店の収益性や効率性を重視した店舗のドミナント体制を構築してまいります。2010年2月期は、都内に2店舗の新規出店を予定しておりますが、これを成功させ2011年2月期以降は、每期3~4店舗の出店を当面の目標として新店開発に当たりたいと考えております。

また、今後の多店舗化を想定した経営体制の強化においても既に取り組みを始めております。現在は、情報システムのレベルアップによるマーケティングと売場管理体制の強化や、社員のスキル向上に向けた教育・訓練システムの構築、新卒定期採用の拡大など様々な新しい取り組みを進めております。

さらに、現状の店舗主導主義にスケールメリットを生かした仕入れなどのチェーンストアオペレーション機能を加えることで、より強い競争力を持ったビジネススタイルを構築してまいります。

これらの戦略を推し進めていくことで、当社は経営理念である「顧客支持No.1店舗の拡大と維持」を追求していきたいと考えております。

小売業はお客様の支持がなければ絶対に成り立ちません。これは、どんなに時代が移り変わっても変わらない真理です。だからこそ当社では、「小売業はお客様の満足を取り戻すための変化対応業である」ことを認識し、常にその時代の流れを読み取り、臨機応変に対応できる柔軟な組織であるよう努めております。

株主の皆様におかれましては、今後とも、当社の経営にご理解とご支援をお願い申し上げます。



トピックス

Topics

新店2店舗がオープンしました。

2008年11月20日(木)、埼玉県川口市に当社2年ぶりの新店となる『SuperValue川口前川店』がオープンいたしました。『SuperValue川口前川店』は、食品スーパー主体のコンパクトタイプの店舗です。出店地域の埼玉県川口市は、東京のベッドタウンとして人口密度が高く、近年も人口は増加しており、今後ますます発展が期待される地域です。

また、2008年12月10日(水)には、埼玉県入間市に当社10店舗目となる『SuperValue入間春日町店』がオープンしました。『SuperValue入間春日町店』は、他社の撤退物件をそのまま利用した“居抜き店舗”です。

これらの出店により、当社の店舗展開は、埼玉県7店、東京都2店、千葉県1店の計10店となりました。



〈SuperValue川口前川店〉

『SuperValue川口前川店』、『SuperValue入間春日町店』の2店舗ともオープン日は、好天に恵まれ、開店前には数百名の列ができるほど多くのお客様にご来店いただきました。

両店舗とも周辺には競合店舗が多く、競争の激しい地域ではありますが、「お客様第一主義」、「地域密着」、「よい商品をより安く」を徹底し、新鮮かつ品質の高い商品をお求めやすい価格でご提供することで、“地域一番店”のポジションを目指してまいります。



〈SuperValue入間春日町店〉

「電子棚札」を導入しました。

当社では、お客様に対するサービスの向上と、更なる生産性の向上及び販売・売価・発注管理の精度を高めるため、2008年6月より「電子棚札」の導入を進めております。

当期は、上尾愛宕店、練馬大泉店、戸田店の3店舗に導入いたしました。今後他店舗にも順次導入を拡大し、よりお買い物しやすい売り場づくりと作業効率の向上に取り組んでまいります。



「エコ・スタンプカード」など環境への取り組みを進めています。

当社では、これまでレジ袋の軽量化や食品トレーの節約、ペットボトル等の資源回収など、地球温暖化防止運動に取り組んでまいりましたが、更なる地球温暖化防止運動の推進のため、レジ袋削減運動を2008年7月より一部店舗にて開始し、2008年11月からは、全店に拡大して実施しております。

ご来店いただいたお客様に対し、マイバッグの持参を呼びかけ、レジ袋をご辞退いただいたお客様には、ご協力への感謝の気持ちを込め、1回のお買い物につき1個スタンプを押印し、スタンプが20個たまると100円のお買い物券となる「エコ・スタンプカード」を配布しております。

また、マイバッグプレゼントキャンペーンも実施し、レジ袋削減への取り組みを強化しております。



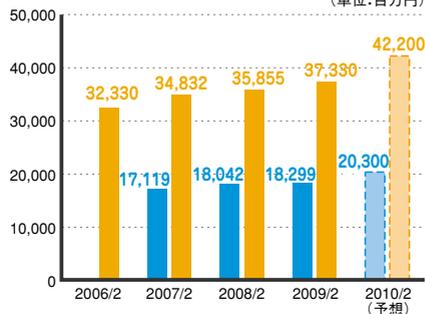
ハイライト情報(連結)

Financial Highlights (Consolidated)

連結売上高

■ 通期 ■ 中間期

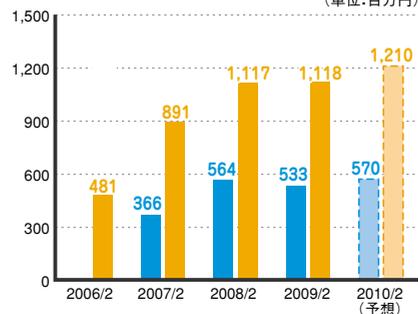
(単位:百万円)



連結営業利益

■ 通期 ■ 中間期

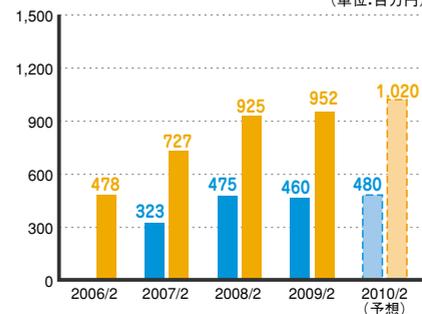
(単位:百万円)



連結経常利益

■ 通期 ■ 中間期

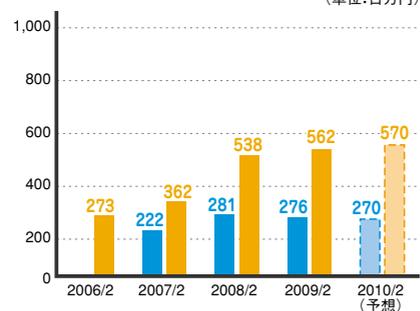
(単位:百万円)



連結当期純利益

■ 通期 ■ 中間期

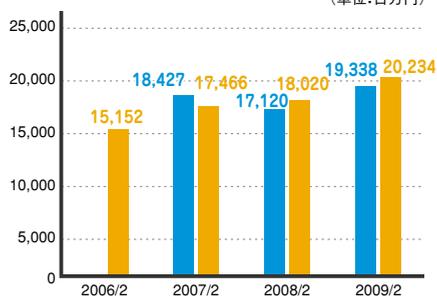
(単位:百万円)



連結総資産

■ 通期 ■ 中間期

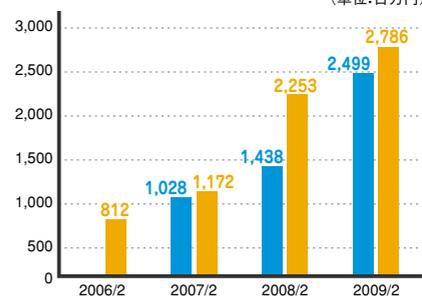
(単位:百万円)



連結純資産

■ 通期 ■ 中間期

(単位:百万円)



※2006年2月期の中間期につきましては、連結中間決算を実施していませんので、上記グラフには記載しておりません。

(単位:百万円)

	連 結			
	2006/2	2007/2	2008/2	2009/2
売上高	32,330	34,832	35,855	37,330
売上総利益	6,429	7,039	7,339	7,804
営業利益	481	891	1,117	1,118
経常利益	478	727	925	952
当期純利益	273	362	538	562
総資産	15,152	17,466	18,020	20,234
純資産	812	1,172	2,253	2,786
1株当たり当期純利益(円)	151.96	201.42	296.74	268.08
1株当たり純資産(円)	451.39	647.72	1,067.08	1,320.07
期末発行済株式数(千株)	1,800	1,800	2,100	2,100

セグメント情報(連結)

Segment Information (Consolidated)

営業概況

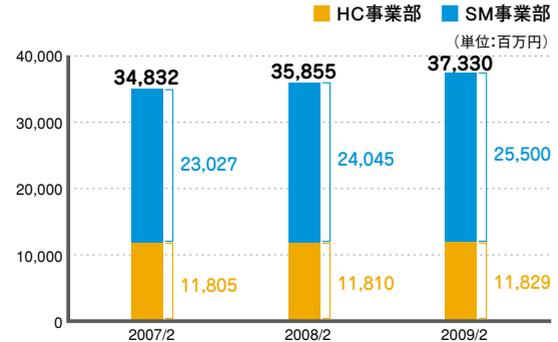
当期におきましては、前年から引き続いた原油や原材料価格の高騰に伴う物価上昇等により、企業業績や個人消費が減速感を見せる中、米国の金融危機に端を発した世界的な金融不安の広がりが追い打ちをかけ、雇用情勢の悪化や生活防衛意識の高まりによる消費マインドの低迷などで、経営環境は一層厳しいものとなりました。

このような環境の中で、当社グループは更なる営業力の強化に取り組んだ結果、当期における連結業績は、増収増益を達成することができました。

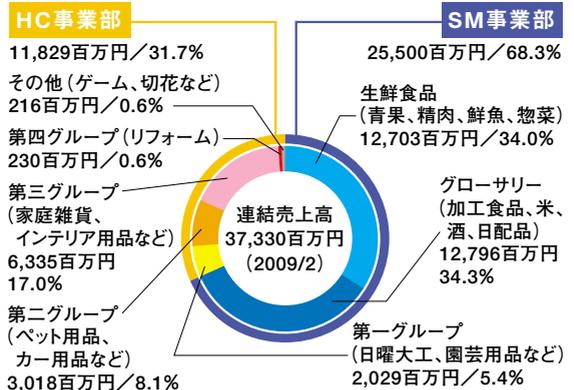
売上高につきましては、販売企画の強化などにより既存店が前期比1.0%増加したことに加え、新店2店舗の寄与もあり、37,330百万円(前期比4.1%増)となりました。営業総利益につきましては、廃棄ロス・値引きロスの管理強化や仕入条件の見直し及び新規仕入先の開拓などによる売上総利益率の改善もあり、8,138百万円(同5.5%増)となりました。

また、販売管理費につきましては、従業員全員参加の業務改善運動に着手し、経費節減の取り組みを進めましたが、新店要員を前倒しに採用し当社営業スタイルの教育に注力したことにより人件費が前期より大幅に増加したことや新店開店費用の発生もあり、7,019百万円(同6.5%増)となり、営業利益は1,118百万円(同0.1%増)と微増にとどまりました。ただし、前期において上場時に発生しました上場関連費用が、当期はなかったこともあり、経常利益は952百万円(同3.0%増)、当期純利益は562百万円(同4.6%増)となりました。

事業部別売上高の推移



品目別売上高構成比



当社は、食品スーパー (SM) とホームセンター (HC) を複合させた独自の業態展開による他社との差別化により、強い集客力を確保しております。当期におきましても、非常に厳しい経営環境の中、SMとHCのシナジー効果を十分発揮し、また、新店2店の寄与もあり、両事業部門ともに前期を上回る業績を上げることができました。

SM事業部の売上高は25,500百万円(前期比6.1%増)、HC事業部の売上高は11,829百万円(同0.2%増)となりました。

連結財務諸表

Financial Statements (Consolidated)

(単位：百万円)

連結貸借対照表	前々期末 2007年2月28日	前期末 2008年2月29日	当期末 2009年2月28日
(資産の部)			
流動資産	3,366	3,290	5,175
現金及び預金	640	579	2,296
現金及び預金 (SPC)	458	557	423
売掛金	139	159	168
たな卸資産	1,649	1,661	1,844
繰延税金資産	78	92	95
その他	245	239	346
その他 (SPC)	154	-	0
固定資産	13,996	14,652	15,007
有形固定資産	12,109	12,872	13,116
建物及び構築物	2,095	1,934	2,302
建物及び構築物 (SPC)	3,274	3,225	3,093
運搬具及び器具備品	4	11	22
土地	3,871	4,834	4,834
土地 (SPC)	2,862	2,862	2,862
建設仮勘定	-	4	0
無形固定資産	29	29	29
無形固定資産	24	24	25
無形固定資産 (SPC)	4	4	4
投資その他の資産	1,858	1,750	1,861
投資有価証券	2	2	1
繰延税金資産	75	60	37
差入保証金	1,739	1,648	1,749
その他	40	38	72
繰延資産 (SPC)	103	77	51
資産合計	17,466	18,020	20,234

(単位：百万円)

	前々期末 2007年2月28日	前期末 2008年2月29日	当期末 2009年2月28日
(負債の部)			
流動負債	6,642	6,668	9,144
支払手形及び買掛金	2,602	2,705	4,740
短期借入金	1,350	1,160	1,050
一年以内返済予定の長期借入金	1,505	1,416	1,892
一年以内返済予定の長期借入金 (SPC)	250	250	250
未払法人税等	196	266	218
役員賞与引当金	9	11	10
賞与引当金	109	131	155
その他	605	712	812
その他 (SPC)	14	15	14
固定負債	9,652	9,097	8,303
長期借入金	3,397	3,154	2,662
長期借入金 (SPC)	5,825	5,575	5,325
退職給付引当金	7	14	24
その他	421	354	291
負債合計	16,294	15,766	17,448
(純資産の部)			
株主資本	1,165	2,240	2,772
資本金	90	367	367
資本剰余金	-	277	277
利益剰余金	1,075	1,595	2,127
自己株式	-	-	△0
その他有価証券評価差額金	0	0	△0
新株予約権	6	12	14
純資産合計	1,172	2,253	2,786
負債純資産合計	17,466	18,020	20,234

財政状態

資産／当期末の資産は、当期末日が金融機関の休日であったことによる現金及び預金の増加、新規出店店舗及び出店予定店舗の有形固定資産、差入保証金などにより、前期末に比べ2,214百万円増加し、20,234百万円となりました。

有利子負債／当期末の有利子負債 (SPCを含む) は、前期末に比べ375百万円減少し11,179百万円となりました。

純資産／当期末の純資産は、当期純利益の計上による利益剰余金の増加などにより、前期末に比べ532百万円増加し、2,786百万円となりました。

注) 連結貸借対照表に掲載された「SPC」とは、「ValuePlaza上尾愛宕店」の賃貸業務を営む当社連結子会社(有)上尾企画を匿名組合 (SPC)として設立していることから、同社分を別立てで掲載しているものです。



■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前々期	前期	当期
	2006年3月1日～ 2007年2月28日	2007年3月1日～ 2008年2月29日	2008年3月1日～ 2009年2月28日
売上高	34,832	35,855	37,330
売上原価	27,793	28,515	29,525
売上総利益	7,039	7,339	7,804
営業収入	286	372	333
営業総利益	7,326	7,712	8,138
販売費及び一般管理費	6,435	6,594	7,019
営業利益	891	1,117	1,118
営業外収益	85	103	106
営業外費用	248	296	271
経常利益	727	925	952
特別利益	172	-	7
特別損失	334	-	-
税金等調整前当期純利益	565	925	960
法人税、住民税及び事業税	299	386	376
法人税等調整額	△96	0	21
当期純利益	362	538	562

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前々期	前期	当期
	2006年3月1日～ 2007年2月28日	2007年3月1日～ 2008年2月29日	2008年3月1日～ 2009年2月28日
営業活動によるキャッシュ・フロー	678	1,373	2,816
税金等調整前当期純利益	565	925	960
減価償却費	289	325	327
その他	△ 175	122	1,528
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,682	△ 1,084	△ 826
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,643	△ 251	△ 407
現金及び現金同等物の増加額	640	37	1,583
現金及び現金同等物の期首残高	458	1,099	1,136
現金及び現金同等物の期末残高	1,099	1,136	2,719

キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益や当期末日が金融機関の休日であったことによる仕入債務の増加などにより2,816百万円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、新規出店しました川口前川店及び入間春日町店の出店関連費用と今後の出店予定店舗の保証金などの支払いにより826百万円の支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、新店設備資金などの長期借入金の調達や長期借入金の約定返済などにより407百万円の支出となりました。

これらの結果、当期末における現金及び現金同等物は、前期末に比べ1,583百万円増加し、2,719百万円となりました。

■ 連結株主資本等変動計算書

当期(2008年3月1日～2009年2月28日)

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	其他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
2008年2月29日残高	367	277	1,595	-	2,240	0	0	12	2,253
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△ 31		△ 31				△ 31
当期純利益			562		562				562
自己株式の取得				△ 0	△ 0				△ 0
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						△ 0	△ 0	1	1
連結会計年度中の変動額合計	-	-	531	△ 0	531	△ 0	△ 0	1	532
2009年2月28日残高	367	277	2,127	△ 0	2,772	△ 0	△ 0	14	2,786

株式関連情報(2009年2月28日現在)

Stock Information

株主の皆様への配当金について

当社は、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主に対する適正かつ安定的な配当を行うことを基本方針としております。

前期の剰余金の配当につきましては、大幅な増益となりましたので、5.00円増配し、1株当たり15.00円を実施し、配当性向(連結)は5.1%となりました。

当期の配当につきましても、増収増益を達成いたしましたので、5.00円増配し、1株当たり20.00円といたしました。この結果、配当性向(連結)は7.5%となりました。今後につきましても、1株当たり20.00円を基本としつつ、上記の基本方針と共に連結業績の成果などを考慮して行っていく所存であります。

なお、当社は、会社法第454条第5項に規定する中間配当を行うことができる旨、定款で定めております。配当の決定機関は、中間配当は取締役会、期末配当は株主総会であります。

2009年2月期における1株当たり指標(連結)

1株当たり純資産 **1,320.07円**

1株当たり当期純利益 **268.08円**

1株当たり配当金 **20.00円**

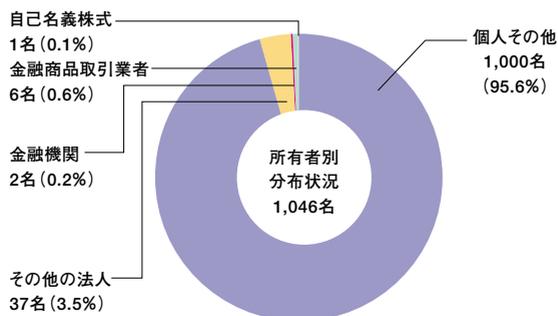
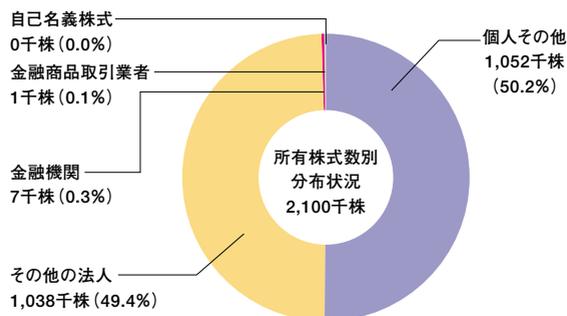
株式の状況

発行可能株式総数	7,200,000株
発行済株式総数	2,100,000株
株主数	1,046名

大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
有限会社ライト経営	380,000	18.10
有限会社ドクターホールディングス	375,000	17.86
川畑 博士	315,000	15.00
スーパーバリュー従業員持株会	134,300	6.40
株式会社ジャパンミート	100,300	4.78
岸本 七朗	100,000	4.76
中島 幸子	100,000	4.76
岸本 圭司	100,000	4.76
ジャフコV2共有投資事業有限責任組合	78,900	3.76
株式会社大川ホールディングス	54,700	2.60

株式分布状況



会社情報(2009年2月28日現在)

Corporate Data

■ 会社概要

商号	株式会社スーパーバリュー
本社	〒330-0802 埼玉県さいたま市大宮区宮町四丁目129番地 大栄ツインビルN館7階 TEL:048(650)5622(代) FAX:048(650)5628
設立	1996年3月18日
創業	1996年7月21日
資本金	3億6,750万円
主たる事業	食品スーパーとホームセンターを併設した複合型小売店舗の経営
主な取扱商品	1.食品スーパー(SM) 青果、精肉、鮮魚、惣菜、加工食品、米、酒、日配品など 2.ホームセンター(HC) 日曜大工用品、園芸用品、エクステリア用品、カー用品、レジャー用品、ペット用品、家電製品、対面(時計・カメラ等)、インテリア用品、家庭・日用雑貨、文具、玩具、ドラッグ、リフォーム、灯油など
従業員数	正社員:290名 契約・嘱託社員、パートおよびアルバイト:869名(8時間換算)
主要取引銀行	三菱東京UFJ銀行 大宮駅前支店/三井住友銀行 大宮支店/埼玉りそな銀行 大宮支店/みずほ銀行 大宮駅前支店/群馬銀行 大宮支店/商工中金 さいたま支店/武蔵野銀行 大宮支店
連結子会社	有限会社バリューサポート 匿名組合(有限会社上尾企画)

■ 役員

代表取締役	執行役員社長	岸 本 七 朗
取締役	専務執行役員	田 幡 徹 夫
取締役	専務執行役員	佐々木 真 一
取締役		大道寺 誠 次
取締役		飯 野 忠 忠
常勤監査役		小 崎 光 明
監査役		小森谷 繁 行
監査役		稲 垣 則 夫
	執行役員	横 山 克 美

■ 店舗ネットワーク

※数字は出店順です。



● 埼玉県

- 1 スーパーバリュー草加店
〒340-0011
埼玉県草加市栄町1-7-18
TEL:048(932)5151
FAX:048(932)2721
- 2 スーパーバリュー越谷店
〒343-0045
埼玉県越谷市下間久里197-1
TEL:048(974)7111
FAX:048(978)2400
- 3 スーパーバリュー戸田店
〒335-0025
埼玉県戸田市南町9-29
TEL:048(434)4955
FAX:048(434)4954
- 5 スーパーバリュー春日部武里店
〒344-0023
埼玉県春日部市大枝330-1
TEL:048(731)2515
FAX:048(731)2564

- 9 **NEW!!** スーパーバリュー川口前川店
〒333-0842
埼玉県川口市前川3-20-17
TEL:048(263)0010
FAX:048(261)0910

- 10 **NEW!!** スーパーバリュー入間春日町店
〒358-0006
埼玉県入間市春日町1-12-1
バリュープラザ入間春日町店内
TEL:04(2901)0070
FAX:04(2964)5439

● 東京都

- 4 スーパーバリュー練馬大泉店
〒178-0062
東京都練馬区大泉町5-6-51
TEL:03(5933)1520
FAX:03(5933)1525
- 7 スーパーバリュー杉並高井戸店
〒168-0073
東京都杉並区下高井戸5-12-12
TEL:03(5316)3033
FAX:03(5316)3288

● 千葉県

- 6 スーパーバリュー南船橋店
〒273-0012
千葉県船橋市浜町2-2-7
ビビットスクエア1階
TEL:047(495)2901
FAX:047(495)2847

株主メモ

決算期	2月末日
定時株主総会	5月
株主配当金	毎年2月末日最終の株主名簿及び実質株主名簿に記載された株主又は登録質権者にお支払いいたします。
中間配当金	実施する場合には、毎年8月末日最終の株主名簿及び実質株主名簿に記載された株主又は登録質権者にお支払いいたします。

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	大阪府中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱所	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	0120-176-417 (フリーダイヤル)
ホームページURL	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
単元株式数	100株
公告の方法	日本経済新聞
上場証券取引所	ジャスダック証券取引所
証券コード	3094

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

▶ IRサイトのご案内

当社ホームページ内のIRサイトに、当社の最新情報を掲載しております。ぜひご活用ください。

ホームページURL <http://www.supervalue.jp/>

◆お問い合わせは、下記まで◆



株式会社スーパーバリュー

〒330-0802 埼玉県さいたま市大宮区宮町四丁目129番地 大栄ツインビルN館7階
TEL:048-650-5622